

# デズモンド・モリス

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

**デズモンド・モリス** (Desmond Morris、1928年1月24日 - ) は、イギリスの動物学者。動物行動学と人間行動学に関する啓蒙的な著作で知られる。

## 概要

バーミンガム大学で動物学を学び、次いでオックスフォード大学大学院に進みニコ・ティンバーゲンの下で動物行動学を研究。

ロンドン動物園の鳥類学研究部門の長だったが、1960年代にテレビの動物番組「Zoo Time」のプレゼンターとして登場し、番組の中でチンパンジーに絵を描かせるといったパフォーマンスを行ったことで注目を浴びた。

人類を「一生物種としてのヒト」とであると定義し、動物学者の見地から人間とその行動を観察、動物としての人間の在り方を説くと共に、人間本位の社会観や価値観に警鐘を鳴らしている。また、イヌ、ネコ、ウマなどの身近な動物が持つ、見落とされがちな習性や知られざる特性を数多く紹介し、人々の動物への理解促進にも努める。1967年の著作*The Naked Ape* (邦題:『裸のサル』) はベストセラーとなると共に、その人間観が大きな議論も巻き起こした。その理由は、それまでのキリスト教的な人間観を排除し、動物としての人間をリアルに活写したことにあり、人類の類人猿との共通性や、先史時代の狩猟採集社会の困難を乗り越えるために人類が大きく進化させた行動について説明している。著作の多くが邦訳されている。

来日した際には相撲観戦をした。十両の取り組みでは、力士の行動観察で8割方勝敗が分かったが、幕内になるとどちらも巧みに自分が勝つという信号を送っていたため、勝敗を読めなくなったという<sup>[1]</sup>。

シュルレアリスムの画家としても知られ、初期はジョアン・ミロの展覧会の時などに併せて展示されていたが、1948年に初の個展を開き、以降は定期的にそれを開いている。1957年にはロンドンのInstitute of Contemporary Artsで、チンパンジーによるペインティングやドローイングの展覧会も主催した。そこにはコンゴという名の若いチンパンジー(→Congo)の作品も含まれている。1967~1968年にはロンドンのInstitute of Contemporary Artsのexecutive director役も務めた。彼の画風は、同じくティンバーゲンの下で動物行動学を研究したりチャード・ドーキンスの著書『*The Selfish Gene* (邦題: 利己的な遺伝子)』や『*The Blind Watchmaker* (邦題: 盲目の時計職人)』のイギリス版の表紙絵などで見ることもできる。

疑似科学の流布で有名な、生物学者のライアル・ワトソンは弟子に当たる。

## 著書

(邦訳)

- 裸のサルー動物学的人間像、角川書店
- 人間動物園、筑摩書房
- 美術の生物学-類人猿の画かき行動、法政大学出版局
- マンウォッチング-人間の行動学、小学館
- ボディウォッチング-続マンウォッチング、小学館



コンゴという名のチンパンジーによる作品

- サッカー人間学-マンウォッチング 2、小学館
- ドッグウォッチング-犬好きのための動物行動学、平凡社
- キャット・ウォッチング―ネコ好きのための動物行動学、平凡社
- キャット・ウォッチング-Part2、平凡社
- 競馬の動物学-ホースウォッチング、平凡社
- モリス自叙伝-動物とわたし、角川書店
- 動物との契約-人間と自然の共存のために、平凡社
- アニマル・ウォッチング―動物の行動観察ガイドブック、河出書房新社
- ジェスチャー―しぐさの西洋文化、角川書店
- ふれあい-愛のコミュニケーション、平凡社
- 赤ん坊はなぜかわいい?-ベイビー・ウォッチング12か月、河出書房新社
- 舞い上がったサル、飛鳥新社
- セックスウォッチング-男と女の自然史、小学館
- 裸の眼-マン・ウォッチングの旅、東洋書林
- 「裸のサル」の幸福論、新潮社
- デズモンド・モリスの犬種事典、誠文堂新光社

## 脚注

1. ^ モリス 『裸の眼―マン・ウォッチングの旅』

「<http://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=デズモンド・モリス&oldid=46687702>」から取得  
カテゴリ: イギリスの動物学者 | 動物行動学者 | イギリスの画家 | 1928年生

- 
- 最終更新 2013年3月16日 (土) 03:11 (日時は個人設定で未設定ならばUTC)。
  - テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。